

## 介護者本人の生活の質の向上のための支援策の検討について

- 県では、令和6年度から令和8年度を対象とする次期レイカディア計画（第9期介護保険事業支援計画）を策定するにあたり、高齢化対策審議会における議論を踏まえつつ、家族の介護をする人本人の生活の質の向上をテーマとして位置付けるとともに、今後の支援策を検討したいと考えています。

### 1 目的

- 介護保険制度の成立から20年以上が経ちサービスの利用が進む一方で、高齢化の進展による要介護者の増加のため、要介護者の家族の側で介護をする人が増加しています。今後このような人が一層増えることが見込まれるところ、要介護者のみならず、介護をする人本人の生活の質の向上を目指し、プランへの位置づけと支援策の検討を行います。

### 2 背景

- 要介護者の増加に伴い、介護保険制度成立時から家族介護者は1.5倍程度に増加し、また男性介護者の介護者全体に占める割合も約4割に達しています。（総務省「平成28年社会生活基本調査」）
- また、家族介護者で精神的負担・身体的負担・経済的負担を感じている割合はいずれも4～6割と高くなっており（厚生労働省「平成29年度介護離職防止のための地域モデルを踏まえた支援手法の整備事業」）、心身の健康や経済的な問題を抱える家族介護者が多いことがわかります。
- さらに、いわゆる「介護離職」は年間9万9千人（総務省「平成29年就業構造基本調査」）で、社会問題化しています。
- 今後、少子高齢化の影響により、1人の子が2人の親を介護する状況や、男性介護者のさらなる増加、加えて定年延長・共働き夫婦の増加等により、就労しながら介護をする人の増加も見込まれます。
- このように家族の介護を担う人の増加が見込まれるなかでも、介護をする人本人が仕事や生活とのバランスを保ちながら自分らしく、日常生活に満足できるような支援を行い、その生活の質の向上を図っていく必要があります。

### 3 主なスケジュール

令和4年8～9月 各種実態調査の実施

令和4年11月 高齢化対策審議会で介護者の支援について議論

令和5年3月 高齢化対策審議会で次期レイカディア計画策定の議論開始（目標、重点事項）

令和5年度 次期レイカディア計画策定（～令和6年3月）